



すずき たかし
鈴木 隆司 議員

他自治体との「協定」「連携」の内容は 町の復興と活性化に役立てる

他自治体や団体との「協定」「連携」「締結等」について

鈴木 今年度、各種の相互調印がなされているが、中でも愛知県豊田市との「災害時相互応援協定」、東京農業大学農学部との連携について、具体的な内容と活動や行動マニュアル等を伺う。また、三鷹市との姉妹市町締結から50年が経過した今、改めて「覚書」を取り交わした経緯について説明を求める。

町長 豊田市との協定は災害が発生し、独自では十分な応急措置が実施できない場合、応援要求に基づき生活必需品や資機材の提供、職員の派遣、被災者の受入等を行うものであります。東大農学部との連携については、自然、環境、農業及び地

域振興。まちづくり及び人づくり、食育の推進について連携協力することになっております。三鷹市とは50周年の節目を契機に、あらためて「覚書」として書面での取り交わしを行い、未来永劫に交流を誓い合うために行うものであります。

矢吹町の「まちづくり」政策について

鈴木 野崎町政10年。「復興」に取り組み現在、改めて具体的な町長の指針を伺う。
(1)西側開発については、ほぼ手付かずの状態であるが、具体的政策は？
(2)中心商店街の復興と活性化について、明確なビジョンは？
(3)旧運動公園用地の活用について、「前向きに考える」の発言から10年。構想案を尋ねる。



締結式の様子



災害公営住宅（中町第2地区）の建設予定地

町長 西側開発については、県との密接な連携のもと、誘致活動等を実施しております。

中心市街地については災害公営住宅の建設と一区自治会館の建設を予定しております。

又、「大正ロマンの館」の活用や、東邦銀行跡地への複合施設

の建設も構想しております。総合運動公園用地の活用については複数の選択肢がありますが、「第6次矢吹町まちづくり総合計画」において明確に位置付けし、事業の実施を図ってまいりたいと考えております。